

# 小学校国語A (主として「知識」に関する問題)

平成30年度  
全国学力・学習状況調査

## 問題の趣旨

国語に関する学習内容のうち、これからの学習や生活をする上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力について調べる問題です。漢字、慣用句、言葉の意味や使い方、文章の読み取りなどの問題が出題されています。

## 全体の正答率

\* 平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

平均正答率は全国と比較して  
0.1ポイント下回っています

### 《平均正答率(%)》

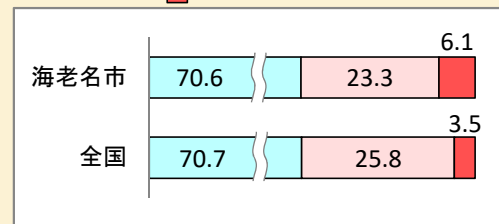
|     | 海老名市 | 神奈川県 | 全国   | 全国との比較 |
|-----|------|------|------|--------|
| 国語A | 70.6 | 70.0 | 70.7 | -0.1   |

誤答の様子は…

分布の様子は…

### 《誤答の内訳(%)》

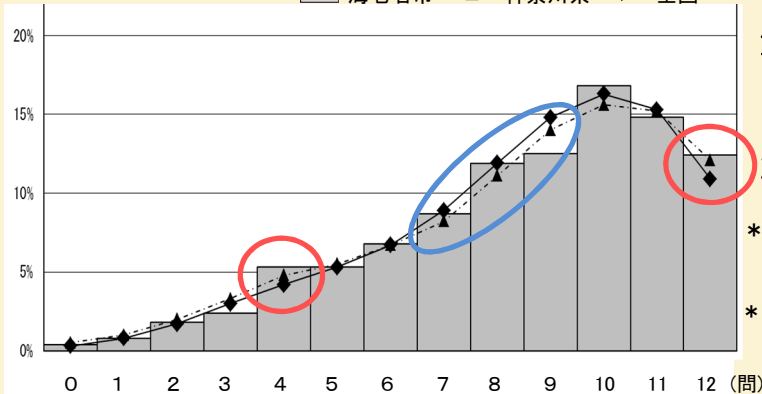
■ 正答 ■ 誤答(書いたが不正解だった)  
■ 無解答(何も書かなかった)



無解答率(何も書かなかった)は6.1%でした。

### 《正答数による分布》

■ 海老名市 ▲ 神奈川県 ◆ 全国



全国と比較すると  
4問と12問の児童が多く  
7~9問の児童が少ないことがわかります

\* 正答率50%以下(0~6問)の児童の割合は22.8%でした。(全国は22.0%)

\* 正答率80%以上(10~12問)の児童の割合は44.0%でした。(全国は42.5%)

## 領域別の正答率

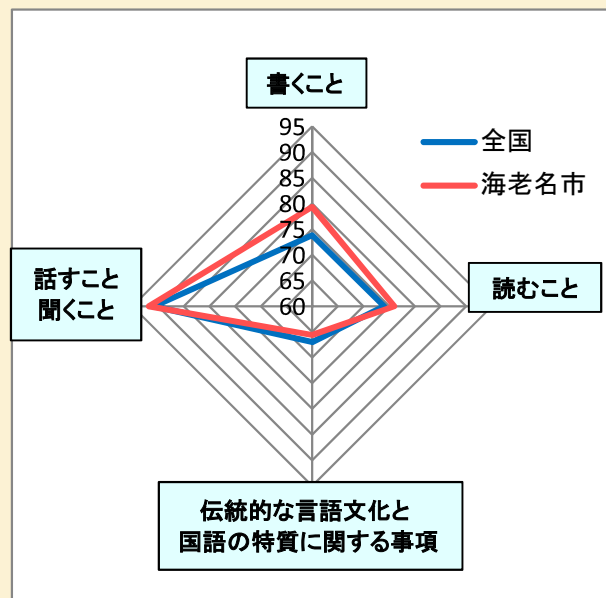
3領域において全国と比較して  
上回っています

### 《平均正答率(%)》

|                      | 海老名市 | 全国   | 全国との比較 |
|----------------------|------|------|--------|
| 話すこと・聞くこと            | 91.8 | 90.8 | +1.0   |
| 書くこと                 | 79.3 | 73.8 | +5.5   |
| 読むこと                 | 76.0 | 74.0 | +2.0   |
| 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 65.6 | 67.0 | -1.4   |

\* 「書くこと」については、5.5ポイント上回っていました。

\* 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、1.4ポイント下回っていました。



## 内容について

\* ( )内は、平均正答率の全国との比較

全国を上回った設問

- 物語を書くときの構成の工夫として適切なものを選ぶ。( +5.5)
- 物語の一文を取り上げて感想を書く際に、その一文を取り上げた理由を選ぶ。( +2.3)
- 主語と述語の関係に注意して、文を正しく書く。( +2.6)

全国を下回った設問

- 漢字を正しく使う。  
(製造) と (新製品) (-2.5)  
(設備) と (設ける) (-2.2)  
(消毒) と (消す) (-3.6)  
(管理) と (試験管) (-2.0)  
(積極的) と (面積) (-2.6)
- 相手や場面に応じた敬語を使う。  
(-1.9)

### 国語Aで平均正答率が全国を下回った設問の例

#### 漢字を正しく使うことができるかをみる設問

【ノートの一部】のア～オは、どのような漢字を使って書きますか。同じ漢字を使って書く文として最も適切なものを次の1～3までの中からそれぞれ一つずつ選びましょう。

|                               | オ   | エ   | ウ  | イ  | ア                |
|-------------------------------|---|---|--|--|------------------|
| 3                             | 2   | ①   | ③  | 2  | 1                |
| せき任の重い仕事を<br>大会でよい成せきを<br>残す。 | 三角形の面せきを<br>求める。                          | ビーカーと試験かん<br>を水で洗う。                       | 近くの警察かんに<br>道をたずねる。  | かん成した作品を<br>先生に見せる。                              | 運動会で赤組が<br>かつ。   |
| ③                             | ②   | ①   | ②  | ①  | ③                |
| 細かい説明をはぶく。<br>ノートの文字を<br>けす。  | 遠くへボールを<br>なげる。                           | 劇のやくの希望を<br>聞く。                           | 新しい規則をもう<br>ける。  | 道具箱の中をせい<br>理する。                                 | 新しい品の価格を<br>調べる。 |
| ①                             | ②   | ③   | ①  | ②  | ③                |
| せいつ限時間に<br>気をつける。             | 調理場には、生地<br>を練る機械など、<br>せいに必要な<br>せつ備がある。 | 衛生を保つために、<br>調理器具などを<br>一日に何度も<br>しょう毒する。 | お客さんにおい<br>しいおかしを食<br>べてもらうた<br>めに、品質を<br>しっかりかん<br>理している。 | 地元野菜や果物<br>などを使った<br>新しいおかし<br>をせつ極的に<br>開発している。 |                  |

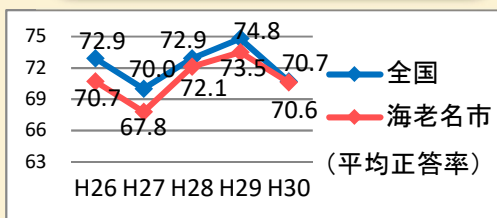
正答は○囲み

☆国語Aのすべての設問は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

## 考 察

- ◆ 全国と比べて、正答数が4問と12問の児童が多く、7～9問の児童が少ないことから、基礎的な力は身につけてきているが、さらに確実な定着を図る必要がある。
- ◆ 漢字や敬語等を正しく使うことなどの言語事項に課題があり、指導の工夫が求められる。
- ◆ 経年比較から見ても確実に読む力が伸びてきており、それによって培われた言語感覚や文章全体を見通す習慣により、書く力も伸びてきている。

## これまでとの比較



- ◆ 5年間とも全国を下回っているが、平成30年度は全国と同程度になっている。
- ◆ 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域は、5年間とも全国を下回っている。

## 指導の改善にむけて

- ◆ 「言語事項を確実に身につける」ために
  - 漢字や敬語等について、日常生活の中で繰り返し指導する。
- ◆ 「豊かな言語感覚を育む」ために
  - 場面や状況を判断して、習得した言語をすすんで活用するように指導する。